

勤 労 意 識 の 多 様 化 と 雇 用 展 望

① 企業の雇用管理体制の改善とその実態

② 人材流動化と勤労意識

企業の雇用管理をめぐる環境は多用に変貌しつつある。その変化の要因のうち、労働者の勤労意識についてみると、若年層の企業への帰属意識の低下や転職志向の高まりがみられる。他方、企業においても、一定の技術、知識・経験

をもつ中途採用者の積極的活用の動きが現われている。これらの問題についての企業の対応を把握し、従業員の就業意識、人事処遇等に対するニーズを明らかにすることによって、企業の雇用管理改善に資するものである。

<主 査>

・安藤喜久雄 駒沢大学教授

<研究委員>

・小山田英一 文教大学教授

・加藤 讓治 神田外語大学教授

・坪 井 健 駒沢大学助教授

<作業部会員>

・安藤喜久雄 前 掲

・坪 井 健 前 掲

・橋本 淳一 淑徳保育生活文化専門
学校講師

・前田紀美夫 駒沢大学大学院

・野村 忠晴 ”

一 目 次

【企業の雇用管理体制】

- I 調査の概要
- II 雇用環境の変化に対する企業の対応
- III 中途採用に対する企業の対応
- IV 調査結果の要約
- 付 調査票

【人材流動化】

- I 調査の概要
- II 仕事意識の実態と構造
- III 転職者の職場状況と満足度
- IV 仕事と生活意識
- V 調査結果の要約
- 付 調査票